

汎用検索アプリを3層構造化、 技術文書の高速検索を全社にサービス

海外拠点から本社 DB を検索しても数秒で結果が返ってくると高い評価

セイコーエプソン株式会社 生産技術本部 CAE 推進部

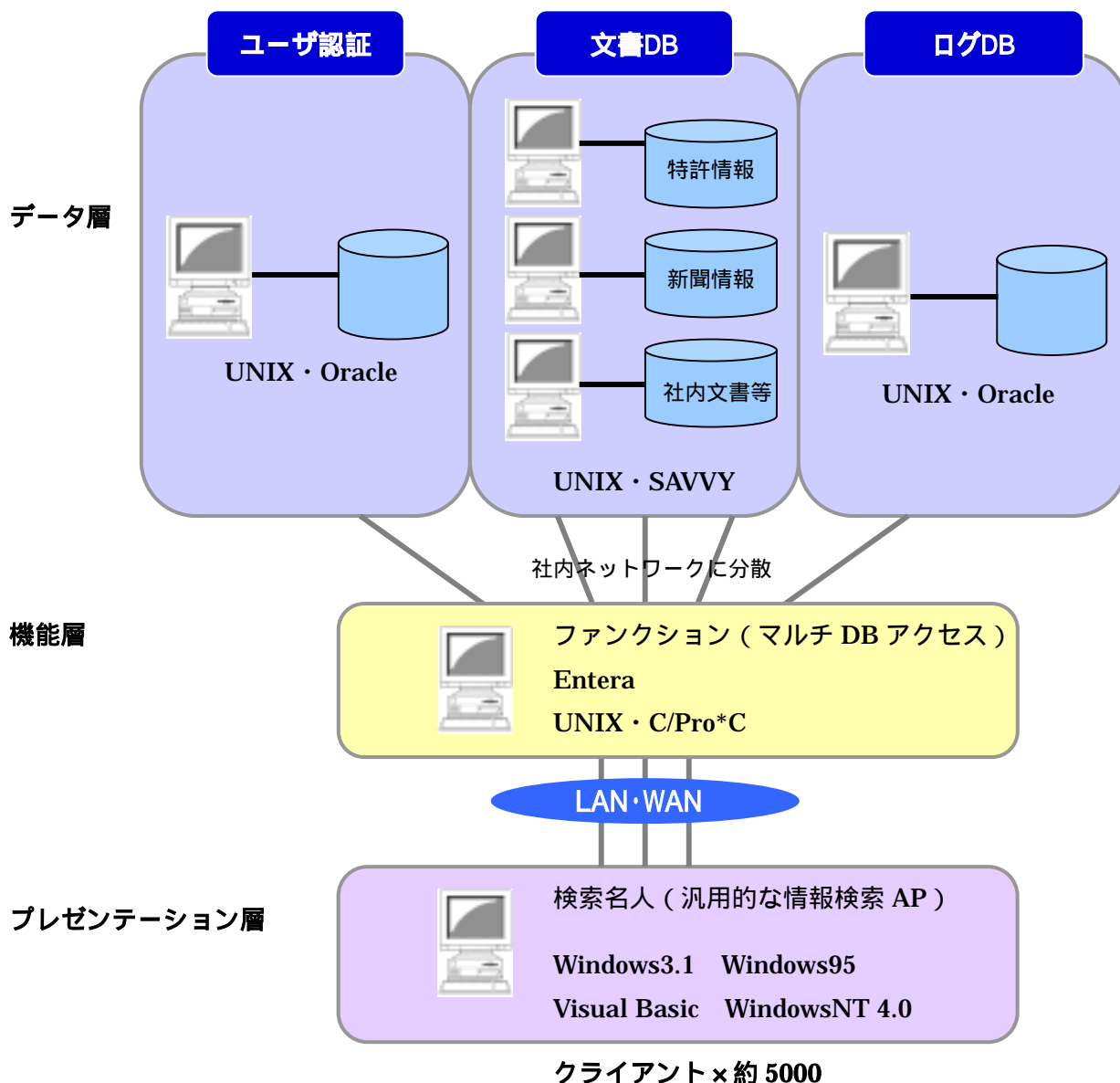
住所 長野県諏訪市

業種 コンピュータ関連の製造業

なぜ Entera か？

最大の利点は、通信部分のコーディングを不要とした点である。また、GUI、サーバプロセス、DB アクセスなど、開発の分業化が可能であり、開発効率の向上が期待できる。

システム構成図



ユーザーコメント

セイコーエプソン株式会社
CAE 推進部 坂井佐千穂氏

「Entera 導入の検討段階では、3 階層化に伴うレスポンス低下に不安がありました。しかし、Oracle7 をデータ層とする Entera のデモシステムを見た結果、十分な実行速度を得られると確認できました。」

システム概要

技術情報検索システム（検索名人）

特許情報等の技術文書を専用の DB に登録し、それらの文章を高速に全文検索する汎用的な情報検索アプリケーションで、海外を含めた 5000 人を対象とした全社向けのサービスとして稼働している。

導入経過

H.6 夏～検索名人開発着手

H.6 年 11 月：検索名人リリース（3 級）その後順次 2 級、1 級をリリース

導入効果

検索名人、その他のサービスが運用段階に入り利用頻度が増えた時点での追加開発（利用効率の低下を防ぐためのログ情報をとる必要が発生）も、Entera の柔軟性の高い 3 層構造により異種 RDBMS との連携をスムーズに行うことができた。

その他、ランニングコストの大幅削減、セキュリティやログ情報の集中管理、負荷分散、ネットワーク負荷の軽減など予想外の成果も多く得られた。

今後の課題

今後も 3 層アーキテクチャを活用して、様々な DB サービスをユーザーに提供することで、全社の情報共有化を推進していきたい。